

- 第2回・第3回復興産業等拠点部会において、中野地区復興産業拠点の基本構想について検討。
- 部会で検討した構想に、規模感、関係インフラ整備等の技術的観点を加え、第4回部会にて事務局から基本構造図(案)を提示。
- 第4回・第5回部会での議論を経て、提言としてとりまとめ。

復興産業等拠点部会における議論

グループA 検討

前回の議論



模式図

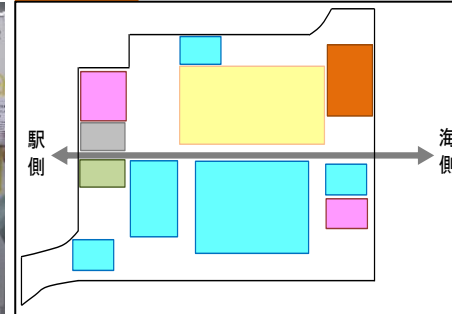


グループB 検討

前回の議論



模式図



その他土地利用関連意見

- ・周辺に、公園等仕事終わりに心が休まる場所を設ける。
- ・花卉を植栽する等、景観に配慮する。

事務局補足

【全体構想関係】

- ・各施設の規模感を考えることが必要。
⇒ 類似施設の規模感(資料4-3参照)を踏まえ、おおよその規模感を検討。
- ・産業施設の整備は、企業のニーズを踏まえ、段階的に進めていくことが必要。
- ・動線となる道路を考えることが必要。
⇒ 中核施設と産業団地を隣接させ、まずはコンパクトに拠点を整備することが、早期整備に繋がる。



(参考: 双葉工業団地。約18ha。)

【個別施設関係】

- ・産業団地の整備に伴い、污水处理施設が必要。
- ・農地に宅地造成をするに当たり、調整池が必要。
⇒ 技術的に適当な場所へ立地を検討



(参考: 左: 污水处理施設、右: 調整池)

(凡例)

- 黄色: 産業交流センター(食堂、売店、コンビニ等)
- 橙色: アーカイブセンター
- 青色: 産業関連施設
- 桃色: 地場産業関連施設(共同事業所等)
- 緑色: 緑地等の景観施設
- 灰色: その他の施設(ガソリンスタンド、コンビニ等)